

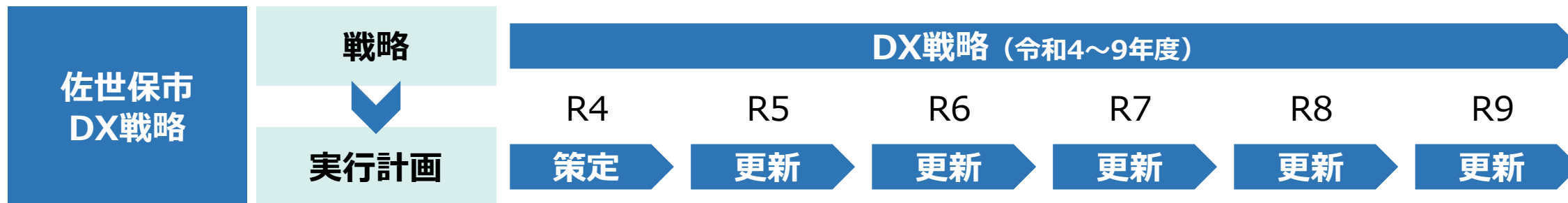
# 佐世保市DX戦略実行計画 (令和4年度実績)

令和5年12月  
佐世保市

# 実行計画の概要

## (1) 実行計画の位置付け

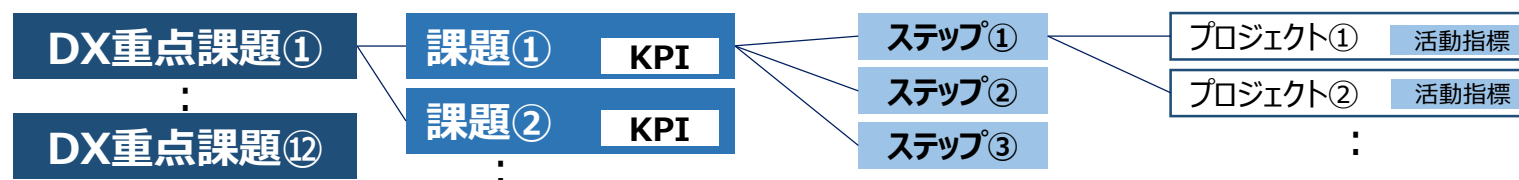
本計画は、「佐世保市DX戦略」（以下、「戦略」という）の下位計画として位置付け、戦略に定める12のDX重点課題を解決するための具体的な施策を取りまとめたものです。戦略の期間中、各施策の進捗状況や、技術革新等、環境の変化を踏まえた柔軟かつ的確な事業展開を実現することを目的として、令和9年度まで毎年度更新して策定します。



※本計画に記載されているプロジェクトは策定時点での見込であり、今後変更になる可能性があります。

## (2) DX戦略の進捗管理

- 本計画では、DX重点課題（戦略上注力する分野と重点的に取り組む課題）ごとに2～3つの「課題」を設け、DX重点課題の達成状況を測るため、それぞれの課題ごとにKPIを設定します。
- また、それぞれの課題を解決するため、「ステップ」（課題を1～3つの段階に分割したもの）を設け、各ステップに1つ以上の「プロジェクト」（ステップの達成のために導入するシステム等）を立て、ステップの達成状況を測るため、それぞれのプロジェクトごとに「活動指標」を設定します。
- これら課題のKPIとプロジェクトの活動指標の達成状況により進捗を管理し、戦略を推進していきます。



課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
データ活用による戦略策定と観光力強化	1-1 政策検討に必要なデータの取得・分析						<p>■観光客に関する様々なデータを収集・分析し、潜在的観光客も含めたニーズ動向把握を行い、データに基づいた観光戦略の策定ができています。</p> <p>■観光客のニーズ等に関するデータを活用することで、観光地としての対応力を強化し、観光客満足度の高い観光地となっている。</p>
	【観光1-1-4】コンベンション協会業務デジタル化支援						
	【観光1-1-5】混雑状況可視化サービス						
	【観光1-1-6】人流データを活用した行動分析 <span style="background-color: #f08080;">リーディング</span>						
	【観光1-1-7】SNSデータのAI分析による観光計画						
	1-2 データに基づいた戦略の策定						
	【観光1-2-1】データ共有プラットフォーム						
	【観光1-2-2】データ分析による需要予測						
【観光1-2-3】旅行者オンライン購買データ解析による未来予測							
1-3 事業者と連携した地域の観光力強化							
【観光1-3-1】事業者等との情報共有							
デジタルプロモーションの推進	2-1 既存素材のデジタル化によるプロモーション強化						<p>■デジタル技術を活用したマーケティングやプロモーションを実施することで佐世保市の魅力をよりわかりやすく伝え、実際に現地を訪れる観光客が増加している。</p> <p>■デジタル技術等の活用により、既存の観光資源の魅力を最大化し、より楽しめる観光体験を提供できている。</p>
	【観光2-1-2】デジタルパンフレット						
	【観光2-1-3】プロモーション動画を起点とした呼び込み						
	【観光2-1-4】デジタルマップの活用						
	【観光2-1-5】各種商品券の電子化						
	2-2 新たな技術を活用したプロモーションの推進						
【観光2-2-1】xRを活用した観光体験							
最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	3-1 政策検討に必要なデータの取得・分析(再掲)						<p>■データを活用した観光客それぞれに合わせた観光ルートの提示などにより、まちなかを起点とした周遊観光の強化や、滞在型観光を推進することで、観光客の満足度向上だけでなく、地域経済にも貢献している。</p>
	3-a-2 メタ観光ニーズへの対応						
	【観光3-a-2-1】AIを活用したメタ観光ルートの提供						
	3-b-2 最適な移動手段情報の提供						
【観光2-b-2-1】周遊観光促進のための一元的な移動手段情報の提供							

R4年度の目標(総括)	R4年度の実績・評価(総括)
デジタルパンフレットやデジタルマップの導入など、計3件の導入により、デジタルプロモーションの強化を図る。また、次年度以降の本格的なデータ活用に向け、人流データを中心とするデータ収集方法や分析に向けた検討や評価を行う。	基本的に予定どおり進んでいる。 データ活用については、人流データプラットフォームとして「おでかけウォッチャー」と今年度のSNSデータ等を含めたデータマイニングをとおして、事業者向け情報発信の検証につなげていく。 メタ観光については、令和6年度新規事業化に向けてゼンリン社と協議を重ねている。

R4年度の事業総括					
		目標	進捗状況	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	データ活用による戦略策定と観光力強化	「政策検討に必要なデータの取得・分析」の初年度として、データ分析用タブレットの導入やWEBアクセス解析のトレーニング受講及び、次年度からの人流データの活用に向けた収集/分析方法の検討を行う。	○: 予定どおり	アクセス解析トレーニングについては、予定通り4回。 タブレットについては、12月に3台を購入、情報センターでの対面案内等のデジタルツールとして活用を開始。人流データは、事業者公表を行う場合BIツール導入及びデータマイニングの強化を要する。SNSモニタリングデータの導入に合わせて、BIツールを活用したダッシュボード作成、データマイニングを本格的に開始する。	
2	デジタルプロモーションの推進	「既存素材のデジタル化によるプロモーション強化」の初年度として、デジタルパンフレットとデジタルマップを導入し、観光客の活用を促す。次年度からの各種商品券の電子化やAR技術の活用について検討を行う。	○: 予定どおり	デジタルパンフは、紙媒体と違い、動画や公式HP詳細ページへの誘導機能があることから、他のデジタル媒体との連携も充実した。デジタルマップも公式HP内などでモデルコース本数を拡充するなど、取り組みを継続中。 デジタル商品券を、振興券として令和4年度に発行。次年度以降、観光客向けにも活用を検討しているeコインの技術基盤整備を図った。	
3	最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	佐世保市版メタ観光(目指す姿)の定義と必要なデータの整理を実施する。最適な移動手段の提供については、ゼンリン社との実証に向けた協議を継続する。	○: 予定どおり	「STLOCAL」へ観光施設等の紹介記事を作成。 市内各施設の登録や一部施設等のチケット販売なども開始されている。	

1	データ活用による戦略策定と観光力強化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		データを活用した事業立案数	予定				5	5	5	5		
	実績											
	民間事業者へのオープンデータ提示数	予定			3	5	7	7	7	宿泊施設をはじめとする観光関連事業者に対し、市が提供する観光関連データ分析結果のダッシュボード数 ※ R5は、人流データに関する旅行者動向に関するダッシュボードを3種類から始める ※ 発地、属性、季節性などを想定	-	
		実績										

2	デジタルプロモーションの推進	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		デジタル化されたプロモーション件数	予定	10	15	20	20	20	20	20		
	実績	10	16									

3	最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		観光ルートのアクセス数/利用者数	予定	25,000	27,500	30,000	33,000	36,000	39,600	43,500		
	実績	55,584	151,246									

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
担い手の確保・継続・育成			1-1 新たな担い手の参入促進 【農水1-1-1】担当者等によるオンライン相談や回答サービス 【農水1-1-2】新規参入マッチングサービス 【農水1-2/3-1】デジタルを活用したコミュニティ交流の強化				<ul style="list-style-type: none"> <li>■新規参入者向けのサポートをオンライン含め充実させることで、新規参入者が不安なく、安心して農林業・漁業に取り組んでいる。</li> <li>■コミュニティ交流の強化により、新規参入者が地域とより繋がることで、共助の関係を構築できている。</li> </ul>
生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現		2-1 農業・漁業のスマート化推進 【農水2-a-1/2-1】農畜産業スマート化・高品質化支援事業補助金(スマート化支援)	【農水2-a-1/2-1】IoTを活用したスマート畜産		【農水2-a-1/2-3】農業散布用ドローン等		<ul style="list-style-type: none"> <li>■デジタル技術を活用することにより、生産性を向上させることで、収入面の安定や向上が実現できている。</li> <li>■生産物の強みを可視化し、付加価値を高め、佐世保市の農林水産業のブランド化や所得向上が実現できている。</li> </ul>
			【農水2-b-1/2-1】IoTを駆使した給餌管理 【農水2-b-1/2-2】AI活用による漁獲量向上 【農水2-b-1/2-3】データ活用による漁獲量予測				
			【農水2-a-3-1】需要データの情報発信				
			2-2 農業・漁業のスマート化の拡大 【農水2-b-1/2-1】生産物の強み可視化によるブランディングの強化 【農水2-b-1/2-2】オンラインによる直売				
安心・安定して生産できる環境の整備		3-1 鳥獣/赤潮被害の軽減 【農水3-1-1】有害鳥獣被害防止対策 【農水3-a-1/2-2】赤潮監視対策事業	リーディング	リーディング			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ICT等を活用することで、鳥獣対策や赤潮等の生産リスクが最小化された環境を実現できている。</li> </ul>

R4年度の目標(総括)	R4年度の実績・評価(総括)
害獣捕獲IoT監視システムとテレメータによる赤潮の早期検知システムの導入など、計2件の導入により、安心・安定して生産できる環境の整備を図る。また、次年度以降の本格的な農業・漁業のスマート化推進に向け、検討や評価を行う。	【農業】令和4年度は13戸において環境制御機器等の導入を図った。また次年度以降のスマート化推進に向けた検討を実施した。 【鳥獣・水産】害獣を捕獲するためのデバイスの開発及び赤潮の早期検知システムの導入を実施した。

R4年度の事業総括				
目標		進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	担い手の確保・継続・育成	○: 予定どおり	窓口来所又は電話で対応する相談件数は一定数上がっている。その後に県又はJA等の作物普及担当者と面談して就農へつながる方向を検討していく。HP等で興味を持った人からの問い合わせは電話で初期対応しており、次につながる関係機関を含めた相談は直接面談しており、WEB上の利用実績はない。しかしWEB上でのマッチングする仕組みについて検討しているが、地権者が知らない人には土地を貸したくないという思いを持っている方も多数いることから現状では難しい状況にある。	
2	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	○: 予定どおり	県北地域におけるR4年度の環境制御機器等の取組み主体は22戸、その内佐世保市が13戸と全体の約60%を占めている状況であった。また、次年度以降についても、導入に向けた検討を実施した。 【漁業】R5年度補正予算により事業費を計上し令和5年度に導入予定 【販路】現状の販路の見直し及び販路開拓に向けた検討を実施した。	
3	安心・安定して生産できる環境の整備	○: 予定どおり	【鳥獣】成獣のイノシシを選択的に捕獲する箱わな開発するため、センサーの選定及び実証実験を行い、デバイスを開発した。 【赤潮監視装置】赤潮発生時期の有害プランクトンモニタリングを常時監視することができ、測定値を基にしたリスク管理を行えた。	

1	担い手の確保・継続・育成	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		新規就農などオンライン・デジタルによる相談数	予定	プロジェクトの検討と合わせて整理し設定する								
実績	/											

2	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価		
		IoT等を活用した農家数	予定	5(いちご)	18(いちご)	28(いちご21、キク7)	44(いちご27、キク12、牛5)	62(いちご37、キク15、牛10)	82(いちご47、キク20、牛15)	102(いちご57、キク25、牛20)			これまでの実績及びスマート化・高品質化支援事業の計画	計画通りの進捗が図れている。
			実績	5(いちご)	18(いちご)									
		IoTを活用した漁業者数	予定	/	/	30	40	40	40	40			漁協聞き取り	-
実績	/		/											

3	安心・安定して生産できる環境の整備	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価		
		IoTを活用した鳥獣検知箇所数	予定	/	/	/	-	-	-	-			R4～6にかけて実証実験を行い、令和7年度に全市的に展開を行う計画としているので、R6に目標値を設定する予定。	
			実績	/	/	/								
		IoTを活用した赤潮検知箇所数	予定	/	1	1	1	1	1	1			設置予定台数から算出	計画通りの進捗が図れている。
実績	/		1											



課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
<p>簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現</p>	1-a-1 子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上						<p>■子育てに関する手続きのオンライン化やワンストップ化により、子育て世帯の手続きの利便性の向上が実現できている。</p> <p>■子育て世帯それぞれに合わせ、子育てに関する様々な情報をプッシュ型通知などで積極的に発信することで、子育てしやすい環境が実現できている。</p>
	【子ども1-a-1-1】オンライン対応可能な手続申請						
	1-b-1 子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上						
	【子ども1-b-1-1】プッシュ型通知(子育て応援アプリなど)の拡充 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リーディング</span>						
	1-2 子育てに関する手続きのワンストップ化や情報発信との連携強化						
<p>地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化</p>	2-1 新たな技術を活用した子育て支援の推進						<p>■先進技術やデータの活用により、地域一体での子育て支援の更なる拡充と職員の業務効率化の双方を実現できている。</p> <p>■データに基づいた施策立案により、複雑化する市民ニーズへの対応を強化し、子育てしやすい環境が実現できている。</p>
	【子ども2-1-2】オンライン相談(母子健康手帳交付、訪問相談など)						
	2-2 子育て支援に必要なデータの取得・分析						
	【子ども2-1-3】地域子ども・子育て支援におけるオンラインネットワーク化による連携						
	2-3 データ活用等による、細やかな子育て支援ニーズへの対応						
	【子ども2-2-1】子育て関連情報の一元管理						
【子ども2-3-1】AIデータ分析による業務活用							

R4年度の目標(総括)	R4年度の実績・評価(総括)
放課後児童クラブ等との効果的かつ効率的な連携により、子育てに関わる地域・組織とのコミュニケーション強化を図るとともに、オンライン手続きやプッシュ型通知の定着化に向けた検討を進める。	○放課後児童クラブ等との効果的かつ効率的な連携については、インターネット環境がないクラブに対して訪問し、環境整備を各クラブへ依頼した。その結果、令和4年度中に73クラブの全クラブとオンラインでやり取りできる環境が整った。 ○オンライン手続きやプッシュ型通知の定着化については申請可能な手続き件数の増等、前進はしているものの目標には達していないこともあり、今後、対応方策の改善等を図る必要がある。

R4年度の事業総括			
目標	進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1 簡単で便利な 手続きによる 抜け漏れのな い支援の実現		オンライン申請やプッシュ型通知の登録者数については、各種申請手続き等において、一定導入・活用が図られた。また、昨年度の国の子育て世帯臨時特別給付金などはオンライン申請を新設し、申請の利便性向上を図った。今後は、オンライン申請率の向上に向けて対策を検討する必要がある。	
2 地域一体で の子育て支援 の実現に向け た先進技術や データ利活用 による支援強 化		①インターネット環境がないクラブに対して訪問し、環境整備を各クラブへ依頼した。その結果、令和4年度中に73クラブの全クラブとオンラインでやり取りできる環境が整った。 ②次期子ども未来プラン(令和7年度)の策定に向けた取組を令和5年度から実施し、必要な支援の検討に向けた調査・検討を行う。	

		KPI	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価	
1	簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	オンライン対応手続き数	予定	16	77	93	R6～9はR5中に整理し改めて設定する				オンライン対応可能な手続き調査(オンライン申請実施計画)に基づき設定	対応可能なものから順次実施している。R5.4.1時点実績は88となっており、確実に増加している。
			実績	19	84							
		オンライン申請利用率	予定	10.0%	20.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	オンラインでの手続き件数/手続き総件数	対応可能なものから順次実施している。オンライン申請率の向上に向けて対策を検討する必要がある。
			実績	12.1%	14.0%							
		プッシュ型通知登録数	予定	50.0%	53.0%	57.0%	60.0%	63.0%	67.0%	70.0%	させぼっ子ナビ新規登録者数(年度ごと)/母子健康手帳交付者数(年度ごと)	引き続き登録利用者の増加に努める。
			実績	78.0%	46.2%							
2	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	オンライン対応相談窓口数	予定	1	2	3	4	4	4	4	相談に係る主要4事業におけるオンライン対応の計画的な実施(妊婦相談・訪問指導・マタニティー学級・乳児家庭全戸訪問)	引き続き実施体制の拡充に努める。
			実績	1	2							
		オンラインネットワーク連携施設数	予定			50	73	73	73	73	オンラインネットワーク構築に係る放課後児童クラブの施設数	令和5年度からの連携体制構築に向けて準備を進める。
			実績									

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像	
児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	1-a モラル教育及びセキュリティの充実						<p>■1人1台端末を活用することで、学習に関する時間や距離、環境に関する制約を排除するとともに、先進技術の活用により、個々の児童生徒に合わせた学習環境が実現できている。</p> <p>■児童生徒が課題解決過程において、整備された環境を活用した深い調べ学習による、情報収集・選択・分析過程、他者やグループの協働を通じて編集し、取りまとめた成果を発表(表現)するなどの過程を通じ、創造性や社会性を育む学習が可能となっている。</p>	
	【教育1-a-1-1】フィルタリングソフトの導入							
	1-b 教員の学びの知見の共有化							
		【教育1-b-1/2-1】学校教育ネットワーク強靱化事業						
				1-c 校務の効率化支援				
				【教育1-c-1】AIドリルの導入				
校務の効率化による注力すべき業務へのシフト	2-1 校務の効率化支援							<p>■デジタルを活用した校務の効率化により、児童生徒に対する学習指導や生活指導等、教職員が本来注力すべき業務に注力できるようになっている。</p>
	【教育1-b-1/2-1】学校教育ネットワーク強靱化事業							
保護者等とのコミュニケーション円滑化による学校・家庭協働での支援体制強化	3-1 保護者等とのコミュニケーションの基盤の整備							<p>■保護者等との連絡にデジタルを活用し、円滑かつ漏れのないコミュニケーションを実現することで、学校と保護者等との連携を強化し、学校・家庭・地域一体となった児童生徒への支援体制が構築できている。</p>
	【教育3-1-1】学校・家庭間連絡システムの導入		リーディング					

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
<p>人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握</p>	<p>1-1 まちづくり計画に必要な人流情報の把握</p> <p>【都市1-1-1】人流データの把握</p>	<p>【都市1-1-4】空き家状況の把握</p>	<p>1-2 SNSを活用した公共施設の取得と解析</p> <p>【都市1-2-2】SNSを活用した公園管理</p>				<p>到達像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■人の流れや交通量等、日々変化するまちに関する情報や現地確認などにおいて、ICT技術を活用することによりリアルタイムで正確かつ効率的に把握し、まちの姿を可視化できている。</li> <li>■行政で活用できる基盤整備から始め、民間との双方向によるデータ活用を実現できている。</li> </ul>
<p>3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践</p>	<p>2-1 3D都市モデルの活用</p> <p>【都市2-1/2/3-1】3D都市モデル構築事業 <b>リーディング</b></p>	<p>2-2 3D都市モデル等を活用したまちづくり計画の高度化と市民へのわかりやすい情報発信</p> <p>【都市2-2-1】3Dデータを活用したまちづくり計画の高度化</p>	<p>【都市2-2-2】アプリケーションによる公園情報の発信</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>■取得したまちに関する情報を3Dモデルにて市民や事業者等へ提示・発信することで、都市計画・設計や防災等における、まちの情報をわかりやすく発信することができている。</li> <li>■データに基づく政策展開をスタンダードにし、民間との双方向での活用や、公民連携を実践できている。</li> </ul>
<p>データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供(市民サービス向上と業務効率化を両立)</p>		<p>3-1 土地利用に関する情報提供システムの一元化</p> <p>【都市3-1-1】データ共有プラットフォーム</p>					<ul style="list-style-type: none"> <li>■市民や事業者等のニーズに即したデータ提供や窓口一元化により、サービスの質の向上が実現できている。</li> <li>■データ取得する市民や事業者等に対し、関連する情報も提供するなど、データ活用を糸口にして幅広く役立つ情報が提供できている。</li> </ul>

R4年度の目標(総括)	R4年度の実績・評価(総括)
「3D都市モデルを活用したまちづくり計画の推進」に向け、3Dデータでの一元的な情報の可視化(3D都市モデルの構築)を実現する。また、次年度以降の本格的なデータ活用に向け、人流データや施設データの収集方法や分析に向けた検討を行う。	3D都市モデルの構築はR5年度へ繰越したため、若干の遅れはあったが、次年度以降のスケジュールに影響があるほどではなく、おおむね達成できた。データの収集についても、検討が進み具体的な実装への検証段階にきている。

R4年度の事業総括				
目標		進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	「まちづくり計画に必要な人流情報/施設情報の把握」の初年度として、人流データの収集/分析方法の検討やドローン/カメラ/SNSなどを活用した施設のデータ収集について検討を行う。	○: 予定どおり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市のエリアリニューアル等に活用するため、特定のエリア・施設に来た人の属性(年齢・性別など)を含む人流データは取得している。</li> <li>・空き家の状況把握に向けた検討を進めている。</li> </ul>
2	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	「3D都市モデルを活用したまちづくり計画の推進」に向け、3Dデータでの一元的な情報の可視化(3D都市モデルの構築)を実現する。	○: 予定どおり	繰越し事業として、鋭意進捗中。
3	データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供(市民サービス向上と業務効率化を両立)	「土地利用に関する情報提供システムの一元化」に向けて、窓口提供情報の棚卸や整理を実施する。	○: 予定どおり	繰越し事業として、鋭意進捗中。

	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価	
			予定	実績								
1	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	リアルタイムで取得する情報の利用率	予定	/	100%	100%	100%	100%	100%	人流・交通量データの利用率(リアルタイム情報の把握をする際、当該施策検討におけるデータ活用の必要性和有用性を必ず確認した上で、取得したデータを活用できたかどうか)	今後の施策展開に必要な施設や区域を選定し、現況や実態のデータ分析を行い、想定通りの活用ができた。	
			実績	/	100%							
2	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	事業立案に利用可能な3Dデータを活用した事業数	予定	/	/	3	3	4	4	5	構築したデータを活用した事業や政策立案数を2年ごとに着実に増加させる。	予定通りの進捗が図れている。
			実績	/	/							
3	データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供(市民サービス向上と業務効率化を両立)	土地利用に関する情報提供数	予定	/	/	5	6	7	8	9	Web上で閲覧できる情報(オープンデータ)の項目数	予定通りの進捗が図れている。
			実績	/	/							

【R4】

重点課題の進捗状況

01「まちづくり」

06【土木】 デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディかつ効率的なインフラ情報の把握	1-a-1ドローンの3D測量等多目的活用の実施						<ul style="list-style-type: none"> <li>■ドローンを多目的に活用(空撮・3D測量等)し、i-Constructionを推進している。</li> <li>■IoTを活用した道路・河川等のモニタリングや、ウェアラブルカメラによる双方向通信により、インフラ情報のスピーディな把握が実現できている。</li> <li>■ICT機器の活用により、インフラ施設の情報分析のための情報収集が、効率的に実現できている。</li> </ul>
	【土木1-a-1】ドローンの多目的活用の推進						
	1-b-1モニタリングによる道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集						
	【土木1-b-1】道路冠水状況モニタリングシステム						
	【土木1-b-2】河川モニタリングシステム <span style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">リーディング</span>						
	【土木1-b-3】ウェアラブルカメラの活用						
AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	2-1 モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析						<ul style="list-style-type: none"> <li>■道路・河川等のモニタリングにより、緊急時の対応の迅速化が実現できている。</li> <li>■インフラ情報をAI技術等により分析を行い、冠水・浸水の未然防止及び予防保全の高度化並びに渋滞対策や改良箇所の抽出などが実現できている。</li> </ul>
	【土木2-1-2】道路パトロールデータのAI分析						
	【土木2-1-3】WEBアプリケーション等を活用した市民による道路損傷通報						
	【土木2-1-1】冠水・浸水予測システム						
	2-2情報分析に基づくインフラ管理の高度化						
インフラ情報のリアルタイム発信	3-1市民へのインフラ情報のリアルタイム発信						<ul style="list-style-type: none"> <li>■IoTの活用により取得した道路・河川等のモニタリングデータをホームページなどにより、市民に対してリアルタイム発信(公開)が実現できている。</li> </ul>
	【土木3-1】ホームページ等による情報のリアルタイム発信						



R4年度の目標(総括)	R4年度の実績・評価(総括)
「インフラ情報のスピーディーかつ効率的な把握」に向け、ドローンやウェアラブルカメラ、道路パトロール動画の活用を実施する。また、次年度以降の本格的な道路・河川のモニタリングに向け、情報収集方法や活用するIoT機器について検討を行う。	「インフラ情報のスピーディーかつ効率的な把握」に向け、ドローンやウェアラブルカメラを導入し、道路パトロールについては、ドラレコによる動画活用を実施した。また、次年度以降の本格的な道路・河川のモニタリングに向け、情報収集方法や活用するIoT機器について検討を行い、予定通りの事業進捗を図った。

R4年度の事業総括					
		目標	進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	「ドローンの多目的利用の推進」の初年度として、3D測量の基盤整備を実施する。道路・河川などのモニタリングについては、河川モニタリングの一部先行取組を実施するとともに、ライブカメラやセンサーの活用について検討を行う。本庁と現場状況のリアルタイム共有を図るため、ウェアラブルカメラの導入・運用を実施する。	○: 予定どおり	測量用ドローンやウェアラブルカメラの導入、河川モニタリングにおける水位計設置など、インフラ情報把握のためのICT機器の導入を行った。また、道路モニタリングについては、R5導入予定に向け、AIカメラ、冠水センサ、水位計等について、調査検討を行った。	
2	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	「モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析」に向け、道路パトロールのAI分析やLINEを活用した市民による道路損傷通報を実施する。	○: 予定どおり	道路パトロールのAI分析については、導入し運用を開始した。市民からの通報システムについては、LINEチャットボットの導入を行った。	
3	インフラ情報のリアルタイム発信	「リアルタイム情報発信のための基盤整備」に向けて、発信情報の選定・方法、機器や庁内調整について検討する。	○: 予定どおり	基盤整備の一つとして、情報一元化について、関係部署と協議を行った。	

1	ドローン・IoT・ICT を活用したスピーディかつ効率的なインフラ情報の把握	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		ドローン・IoT・ICT による情報把握対象の土木インフラ施設数	予定			11	26	28	30	32		
	実績			11								

2	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		データ分析対象の土木インフラ施設数	予定			1	1	1	1	2		
	実績			1								

3	インフラ情報のリアルタイム発信	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		リアルタイム発信チャンネル数	予定					2	4	6		
	実績											

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
<p>気軽に相談できる窓口の構築</p>		<p>1-a-1 福祉関係の手続き・相談等のオンライン化による市民サービスの向上</p> <p>【保福1-a-1-3】オンライン相談</p>	<p>1-a-2 福祉に関する情報発信の強化</p> <p>【保福1-a-2-2】ナッジ理論を活用した検診の推奨</p>		<p>1-b-1/2 気軽に相談できる窓口の実現にむけた運用面の整理</p>	<p>1-3 気軽に相談できる窓口の実現(DX活用による連携強化)</p>	<p>■手続きや相談のオンライン化及びプッシュ型通知等による情報発信の強化により、市民サービスの向上が実現できている。</p> <p>■DXを活用した連携強化により、重層化・複雑化する市民のさまざまな問題を解決できる。</p>
<p>多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援</p>	<p>2-b-1 包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減</p> <p>【保福2-b-1-2】電子審査会の推進</p>	<p>【保福2-b-1-1】訪問調査におけるタブレット活用</p>	<p>2-b-1 先進技術の導入による職員負担の軽減</p> <p>【保福2-b-2-2】電話・窓口における対応支援AI</p>	<p>2-b-2 AIを活用した市民サービスの推進</p>		<p>2-3 市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援の実現</p>	<p>■先進技術の積極的な活用により、職員の業務効率化を図り、包括的支援が実現できている。</p> <p>■包括的な支援体制の構築に向け、関連する情報を集約し、地域で共有することで、重層化・複雑化する市民ニーズへの対応が強化されている。</p>

		R4年度の目標(総括)	R4年度の実績・評価(総括)		
		「気軽に相談できる窓口の実現」の一步目として、手続き関係のオンライン化や相談等のオンライン対応の実現に向けた検討を行う。合わせて、職員負担の軽減に向けた先進技術の導入についても検討を行う。	手続きや相談等のオンライン対応に向けた検討については、実施計画に基づき着実にオンライン対応手続きの拡大を進めている。また、気軽に相談できる窓口の構築については重層的支援体制整備との関係が深いため、地域連携準備室(現 地域福祉推進室)において様々な検討を行った。 職員負担の軽減に向けた業務の効率化の検討については、スマートプロジェクトの利用拡大など予定通りの進捗状況である。		
		R4年度の事業総括			
		目標	進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	気軽に相談できる窓口の構築	「福祉関係の手続き・相談等のオンライン化」「気軽に相談できる窓口の実現に向けた運用面の整理」の初年度として、手続き関係のオンライン化と相談等のオンライン対応を中心に、実現に向けた検討を行う。	○: 予定どおり	オンライン申請実施計画に基づき、着実にオンライン対応手続きの拡大を進めている。 また、窓口のオンライン対応についても、相談業務に限定せず、個別のニーズや必要性に応じて対応できるよう検討を行った。	
2	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	「先進技術の導入による職員負担の軽減」に向け、AIなどの先進技術を活用した業務の効率化について検討を行う。	○: 予定どおり	業務の効率化を進めるためスマートプロジェクト(PRAやAI-OCR等)について利用拡大に取り組んだ。 DX推進室への相談件数は10件程度(R3は0件) ※コロナ対策室を除く。  また、電子審査会用のタブレットについては、予定通り導入済みで、現在は全て電子審査会に切り替えている。 また、AIによる自動応答の実証実験を行った。	

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	気軽に相談できる 窓口の構築	オンライン 対応手続き 数	予定	8	186	269	R6~9はR5中に整理し改めて設定する				オンライン対応可能な手続きの 調査に基づき設定	対応可能なものから順次 実施している。R5. 4. 1時 点実績は221となっており、 確実に増加している。
			実績	15	155							
		オンライン 申請利用 率	予定	10%	20%	30%	35%	40%	45%	50%	オンラインでの手続き件数/手 続き総件数	対応可能なものから順次 実施している。今後も窓口 等でオンライン申請を周知 するなど、利用率増加を 図る。
			実績	18.0%	8.0%							
		オンライン 対応相談 窓口数	予定			15	15	15	15	15	オンライン対応窓口数 (課かい数)	-
			実績									

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	多様な担い手との 連携による市民一 人ひとりの状況に 合わせた包括的支 援	AI等先進 的なICTを 活用する業 務数	予定	85	74	80	85	90	95	100	AI、RPA等の活用により、業務 効率化に取り組んだ業務数を 設定	議事録AI利用実績が大きく 伸び、目標を上回っている。
			実績	85	108							

【R4】

重点課題の進捗状況

01「まちづくり」

08【防災危機管理】 適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
<p>関連情報のリアルタイムな把握と一元管理</p>	1-1 災害対応に必要なデータの取得・分析						<p>■災害対応に必要なデータをリアルタイムに取得・分析し、迅速な危機管理対応ができる。                  ■有事における対応計画が一元化された情報により作成できるようになる。</p>
	<p>【防災1-1-1】災害情報共有システム導入 <span style="background-color: #FFD700; padding: 2px;">リーディング</span></p>						
	<p>【防災1-1-2】対災害SNS情報の取得・分析</p>						
	<p>1-2 データ分析に基づく防災計画などの策定                  【防災1-2-1】3Dデータを活用した防災の周知</p>						
<p>市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信</p>	2-2 旅行者、外国人向けの防災情報の発信						<p>■災害による被害軽減にむけて、市民一人ひとりに合わせたタイムリーかつ「伝わる」防災情報の発信ができています。                  ■高齢者や外国人等も含め、多様な市民へも対応できる情報発信をできています。</p>
	<p>【防災2-2-1】旅行者向けの災害情報アプリケーションによる発信</p>						
	<p>【防災2-2-2】ポータルサイトでの外国人向け情報発信</p>						

R4年度の目標(総括)	R4年度の実績・評価(総括)
重点課題である「適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築」の中核を担う災害情報共有システムの導入を実施する。	災害情報共有システムについて公募型プロポーザルにより受託者を決定し、令和5年5月末を納期としてシステム構築に着手した。

R4年度の事業総括					
		目標	進捗	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	「災害対応に必要なデータの取得・分析」の実現に向け、災害情報共有システムの導入を実施する。	○: 予定どおり	災害情報共有システムの受託者と構築にかかる契約を締結し、令和5年5月末納期としてシステムの構築を実施している。	
2	市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信	「市民への情報発信の強化」に向け、現状の情報発信の内容・手法の整理を実施する。	○: 予定どおり	ホームページ上に、外国人向け防災情報アプリ「SafetyTips」を紹介するページを作成した。 また、システムによる市民向け防災ポータルサイトについて14か国語での情報配信をすることとした。	

	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価	
1	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	情報集約対象のシステム化率	予定			100%	100%	100%	100%	100%	集約対象となる防災関連情報のシステム入力率	令和5年5月末を目標に災害情報共有システムの構築を実施している。
			実績									
2	市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信	情報発信チャンネル数	予定	10	11	11	11	11	11	11	市民及び旅行者、外国人向け情報発信チャンネル数	外国人向け防災情報アプリ「SafetyTips」を紹介するページを市HP上に作成し、外国人向けの情報配信を推進した。
			実績	10	11							



【R4】

重点課題の進捗状況

02<<行政経営>>

01【窓口】 行かなくてもよい&待たない窓口

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	1-1 申請のオンライン化						<p>■窓口に行く時間がない、行くことが困難といった市民・事業者は対面性を必要としない、全ての手続きをオンラインで行うことができ、窓口には行かなくてもよい。</p>
	【窓口1-1-1】全庁的な手続きオンライン化の推進 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リーディング</span>						
	【窓口1-1-2】自治体オンライン化推進事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リーディング</span>						
	【窓口1-1-3】クルーズ船入港予約システム						
	1-2 電子申請における事務処理の効率化						
	【窓口1-2-1】電子申請と庁内システムの連携						
書かない/待たない窓口の実現	2-1 窓口での手続きに要する時間の削減						<p>■対面性が必要とされ窓口に行かなくてはならない手続き、窓口で支援を受けたい手続きについては、待合スペースでの申請入力や、来庁者の分散化により最小限の待ち時間でサービスを受けることができる。</p>
	【窓口2-1-1】申請書類作成支援システムの導入						
	2-2 来庁者の分散化						
	【窓口2-2-2】申請の事前入力や窓口予約の実現						
	2-3 プッシュ型手続きの実現						
	【窓口2-3-1】プッシュ型手続きの案内検討						
相談チャネルの拡充	3-a-1 オンライン相談の拡大						<p>■市民・事業者は各種相談についても市役所に行かなくても、いつでもどこでもサービスを受けることができる。</p>
	【窓口3-a-1-1】オンライン相談の拡大						
	3-b-1 相談に係る待ち時間の削減						
	【窓口3-b-1-1】相談窓口予約						

R4年度の目標(総括)	R4年度の実績・評価(総括)
オンラインでできる手続きや相談の拡充を行うことで、利便性の向上を図る。また、窓口での手続きに要する時間を削減するための申請書作成支援システムの導入を進める。	オンライン化を推進すべき手続き等について、ほとんどの手続きにてオンライン化ができるようになってきている。 「書かない・待たせない」窓口の実現については、令和6年度以降の各種システム導入に向け、より効果的なシステム構成等の再検討を進めることができた。 オンライン相談・窓口予約の検討を進めた。

R4年度の事業総括			
目標	進捗状況	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1 市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	○: 予定どおり	目標として掲げていた地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続及び年間100件以上の手続について、ほとんどの手続きにてオンライン化ができるようになってきている。運用面で引き続き協議、調整が必要な手続は令和5年度に継続してオンライン化に向けた取り組みを進めている。 クルーズ船入港予約システム構築を構築し、運用開始した。	
2 書かない／待たない窓口の実現	○: 予定どおり	より効率的な窓口運営の実現に向け、令和6年度以降に導入予定のシステムの仕様や構成について情報収集のうえ、検討・協議を進めた。	
3 相談チャネルの拡充	○: 予定どおり	オンライン相談は、妊婦相談、伴走型相談、移住サポートにて実施済み。窓口予約についても、休日移住相談、障害福祉事業者相談、産業コーディネータ相談にて実施済み。 また、既存システム(ツール)によるオンライン相談及び窓口予約の対象業務の拡大検討を進めている。	

No.	項目	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		予定	実績									
1	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	オンライン対応手続き数	予定	134	510	1,020	R6~9はR5中に整理し改めて設定する				オンライン対応可能な手続きの調査に基づき設定	概ね計画どおり進捗が図られている
			実績	134	521							
		オンライン申請利用率	予定	10%	20%	30%	35%	40%	45%	50%	オンラインでの手続き件数/手続き総件数	オンラインでの手続き件数自体は前年度よりも増加している。手続き総件数の多い手続きでの利用率が低いため、オンライン利用の増加・拡大を目指していく。
			実績	18.0%	6.6%							
2	書かない/待たない窓口の実現	申請書作成支援対応手続き数	予定	/	/	/	5	5	5	5	記載台常備の戸籍・住民票・印鑑証明の各請求書、住民異動届、及びマイナンバーカード関係申請書の5種を設定	令和6年度以降の供用開始に向け、より効果的なシステム構成の見直し・検討を進めた。
			実績	/	/	/						
		申請書作成支援対応手続き利用率	予定	/	/	/	10%	20%	30%	40%	申請書作成支援対応手続き利用件数/手続き総件数	令和6年度以降の供用開始に向け、より効果的なシステム構成の見直し・検討を進めた。
			実績	/	/	/						
3	相談チャネルの拡充	オンライン相談対応業務数	予定	/	/	19	20	20	20	20	オンライン相談ができる窓口数	-
			実績	/	/							
		窓口予約対応手続き数	予定	/	/	2	4	4	4	4	窓口予約対応手続き数(令和5年度より実装、順次拡大)	-
			実績	/	/							

【R4】

重点課題の進捗状況

02<<行政経営>>

02【多様化】 多様なサービスをもれなく受けられる市役所

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
支払のキャッシュレス対応	1-1 財務会計システム納付書のキャッシュレス化						<p>■市民・事業者は、行政サービスにおける各種支払いについてキャッシュレス(クレジットカード、電子マネー等)を選択することができる。</p>
	【多様化1-1-1】財務会計システムの納付書に対するキャッシュレス導入					リーディング	
	1-2 窓口(レジ)のキャッシュレス化						
	【多様化1-2-1】窓口(レジ)のキャッシュレス導入					リーディング	
	1-3 個別システム納付書のキャッシュレス化						
	【多様化1-3-1】個別システムの納付書に対するキャッシュレス導入						
デジタルデバイス対応	2-a-1 デジタルデバイス対応						<p>■市民・事業者は、窓口対応や市からの行政サービスの提供において年齢や障がい・言語を問わず、DXのメリットを享受することができる。</p> <p>■市民・事業者は地域を問わず、デジタルを活用することができる。</p>
	【多様化2-a-1-1】高齢者・障がい者へのデジタル活用支援						
	2-b-1 情報発信の多言語対応						
	【多様化2-b-1-1】広報の多言語対応拡張						
	【多様化2-b-1-2】AI翻訳ソフトの実証と導入					リーディング	
	2-c-1 ネットワーク利用可能施設の拡大						
	【多様化2-c-1-1】市内公共施設へのWi-Fi環境導入と適切な管理・運用						
情報発信の強化	3-1 情報発信のデジタル化						<p>■市民・事業者は、市役所が発信する様々な情報を、必要な時に、広報紙やホームページ、各種SNSといった最適な手段で取得することができる。</p> <p>■市民・事業者は動画によりわかりやすい情報を得ることができる。</p>
	【多様化3-1-1】広報紙のデジタル化						
	【多様化3-1-2】LINEサービスの拡張						
		3-2 利用者のニーズに合わせた情報発信の最適化					
	【多様化3-2-1】情報発信チャネルの最適化						

R4年度の目標(総括)	R4年度の実績・評価(総括)
利用件数の多い納付に関するキャッシュレス化対応、広報紙のオンライン化、市内公共施設へのネットワーク導入等、幅広いニーズに対応するための多様な手段の整備を進める。	キャッシュレス対応については、財務会計システムで取り扱う納付書のキャッシュレス化を完了し、窓口にはキャッシュレス対応のセミセルフレジ及びマルチ決済端末の導入を行った。 コミュニティセンターへのFree Wi-Fiの導入については、全国的な半導体不足により機器の納期に影響し着工が遅れたものの、結果的には予定どおり全コミュニティセンターへの環境整備が完了した。

R4年度の事業総括				
目標		進捗状況	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	支払いの キャッシュレス対応	キャッシュレスのニーズに対する対応として、財務会計システムで取り扱う納付書に関してキャッシュレス化を完了するとともに、窓口での支払いについてはキャッシュレス対応のレジの導入及び検証による収納業務の整理を行う。	○: 予定どおり  ●キャッシュレス対応レジの導入 ①R4.11～ 戸籍住民窓口課、相浦支所、日宇支所、宮支所、吉井支所 ②R5.2～ 市民税課、上記以外の支所及び宇久行政センター ●財務会計システム改修 R4.10～ 財務会計システムから出力される納付書(約320手続)についてコンビニ等での収納対応を実施	
2	デジタルデバイス対応	「高齢者、障がい者等のデジタルデバイス対応」としてオンライン申請等を活用できるよう講習会といった支援を実施する。「情報発信の多言語対応」として、佐世保市HPの対応言語の拡張について対応する。また、「ネットワーク利用可能施設の拡大」では公共施設へのFree Wi-Fiの導入を進める。	○: 予定どおり  スマホ講習会については、48回と予定を上回る結果だった。 コミュニティセンターへのWi-Fiの導入整備は、R5.2月に完了し3月から利用開始となり、計画通り年度内に整備完了した。Wi-Fi利用数も2,000件を超えており、Wi-Fi利用人数は見込みを上回る結果となった。 デジタル版広報紙のサービス提供によって、広報紙については「10言語」に対応した。	
3	情報発信の最適化	「情報発信のデジタル化」として、広報紙をオンライン化することで、発信のチャネル拡大する。また、LINEによる情報発信コンテンツについても拡張の検討を行う。また、既設のSNSチャネルについて最適化に向けた検討に着手する。	○: 予定どおり  デジタル版広報紙のサービス提供によって発信チャネルを拡大した。	

1	支払いのキャッシュレス対応	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		キャッシュレス決済利用率(財務システム)	予定		5%	6%	7%	8%	9%	10%		
	実績		3.9%									
		キャッシュレス決済利用率(窓口)	予定		20%	25%	30%	35%	40%	45%	キャッシュレス決済利用件数/全決済件数(キャッシュレス決済対応済手続きのみ)	①R4.11~1次導入 ②R5.2~2次導入 年度途中での開始であり予定を下回っている。広報等により周知していく。
			実績		10.2%							

2	デジタルデバйд対応	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		情報発信における対応言語数	予定	4	4	4	133	133	133	133		
	実績	4	4									
		デジタル活用セミナー実施回数	予定	21	27	27	27	27	27	27	市役所(コミュニティセンター含む)が行うデジタル活用セミナーの回数	予定を上回る結果となった。
			実績	30	48							

3	情報発信の最適化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		市ホームページのアクセス数	予定	3,920,000	4,272,800	4,625,600	4,939,200	5,252,800	5,566,400	5,880,000		
	実績	3,944,938	4,077,432									

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
市民・事業者の意見の効果的な活用	1-1 電話対応の品質向上・職員負荷軽減		【業務効率化1-1-1】電話の自動応答、録音による問い合わせ業				■市民・事業者からの声を、デジタルを活用することで広く収集し、効果的に施策に反映できるようになる。
	1-2 市民の声収集・活用の活性化		【業務効率化1-2-1】広聴制度の見直し				
事務作業の削減・省力化	2-a-1 デジタルツール活用による業務の自動化						■事務作業は可能な限りAIやロボットにより自動化され、職員の業務から削減される。 ■デジタルツールにより決裁等の時間や手間のかかる業務をサポートすることで、職員はよりスピーディに業務を遂行することができる。
	【業務効率化2-a-1-1】RPAの導入と活用 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リーディング</span>						
	【業務効率化2-a-1-2】AI-OCRの導入と活用 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リーディング</span>						
	【業務効率化2-a-1-3】ローコードツールの活用						
	【業務効率化2-a-1-4】文字起こしAIによる議事録の自動化 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リーディング</span>						
	【業務効率化2-a-1-5】業務手順書作成によるBPRの推進						
	2-b-1 内部事務のデジタル化						
	【業務効率化2-b-1-1】電子決裁・文書管理システム						
	【業務効率化2-b-1-2】庶務事務システム						
様々なデータを活用した業務の高度化	3-1 データ利活用環境の整備						■庁内の様々なデータを利活用し、課題解決や業務に活かすことにより、職員の業務は更に高度化することができる。
	【業務効率化3-1-1】BIツール等を用いたデータの見える化						
	【業務効率化3-1-2】地理情報システム管理事業						
	【業務効率化3-1-3】データ共有プラットフォーム						
	3-2 庁内情報管理の高度化						
【業務効率化3-2-1】AI等先進技術の活用研究							
【業務効率化3-2-2】庁内情報の整理と配置の見直し							

R4年度の目標(総括)	R4年度の実績・評価(総括)
様々なデジタルツールを活用した自動化による事務作業の削減、決裁や勤怠管理をはじめ時間を要する業務の省力化や高速化を行うための実証やシステムの導入を進める。また、電話対応の品質向上・職員負荷軽減に向けた自動応答等の整備を進めるとともに、データ利活用環境の整備を進める。	「オフィス改革の推進」の方針に基づき、全庁的な電話の在り方について検討した。RPA等による事務作業の削減、庶務事務システム再構築により電子決裁導入を行い内部事務のデジタル化を進めた。また、BIツールの実証を進め、長崎県データ連携基盤の共同利用を開始した。

R4年度の事業総括			
目標	進捗状況	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1 市民・事業者の意見の効果的な活用	○: 予定どおり	新たな課題を踏まえて関係各課(行財政改革推進局、DX推進室)と協議を行うとともに、事業者へのサウンディングを実施した。 電話の自動応答の導入と併せてPBX(電話交換機設備)のリプレースも検討することから、「オフィス改革の推進」の方針に基づき、全庁的な電話の在り方について検討し構築する必要が生じた。	電話の自動応答の導入にあたり、PBX(電話交換機設備)のリプレースと併せて検討する必要があり、「電話の品質向上・職員負荷軽減」の達成には、全庁的な電話の在り方を構築することで、到達像の達成の効果を上げることができる。
2 事務作業の削減・省力化	○: 予定どおり	RPA+AI-OCRにて合計3530.5時間の効率化を行うことができた。 文字起こしAIを927件処理を行い、1742.7時間の効率化を行うことができた。 ローコードツールにて、浄化槽管理システムを構築した。 電子決裁の導入を行い、庶務事務システムの再構築を実施した。	
3 様々なデータを活用した業務の高度化	○: 予定どおり	BIツールの実証を進め、長崎県データ連携基盤についても構築を完了し共同利用を開始できた。	



1	市民・事業者の意見の効果的な活用	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		電話の自動応答業務数	予定					0	3	3	3	業務繁忙期がある以下3業務に自動応答を活用する。①税の納付書発送、②税の申告、③住民異動
	実績											
	広聴システムでの満足度	予定		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	広聴システムからの回答についての大変満足・満足の割合(アンケート等による)	現状の取り組みでは、市民の声に的確・丁寧に対応し、満足度の向上が見られるが、さまざまな声の効果的活用について研究中。
		実績		80.2%	83.6%							

2	事務作業の削減・省力化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		RPA等による削減効果時間	予定		2,500.0	2,800.0	3,000.0	3,200.0	3,400.0	3,600.0	3,800.0	(RPA1件における平均効率化時間 50h × 利用件数 音声文字起こし AI の年間効率化時間 1,200h)
	実績		7,055.8	5,273.2								
	電子決裁率	予定			100%	100%	100%	100%	100%	100%	決裁の基本ルールとして100%電子決裁とするため(例外は除く)	計画通りの進捗が図れている。
		実績			100%							

3	様々なデータを活用した業務の高度化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		データの見える化対応業務数	予定				6	12	18	24	30	①オープンデータ⇒Tableauによるダッシュボード作成:3件/年 ②庁内データ⇒Power BIによるダッシュボード作成:3件/年
	実績											

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	1-a-1 リモートワークに適したネットワーク・パソコン環境の検討と実証						<ul style="list-style-type: none"> <li>■職員は自身の働き方や業務内容に応じて、働く場所を選択することができる。</li> <li>■職員は庁内においても場所にとらわれず効率的に業務を遂行することができる。</li> <li>■市民や事業者とも対面にとらわれず、効率的に情報発信やコミュニケーションをとることができる。</li> <li>■アイデア創出のための組織横断的なコラボレーションができる。</li> <li>■自治体情報システムやICTインフラはより効率的かつ利便性の高いものとなる。</li> </ul>
	【職場環境1-a-1-1】スマートワーク環境整備(端末整備)※毎年度拡大 <b>リーディング</b>						
	【職場環境1-a-1-1】スマートワーク環境整備(ネットワーク整備)						
	1-a-2 リモートワークに適した環境リプレースの推進 【職場1-a-2-1】PC台数、スバック、運用の見直し						
	1-b-1 オンラインコミュニケーションの環境整備・実証						
	【職場環境1-b-1-1】オンライン共有環境や運用の見直しと拡大						
	【職場環境1-b-1-2】研修・説明会・視察のオンライン化						
	1-b-2 情報共有環境の見直し 【職場環境1-b-2-1】情報共有環境の見直し						
	【職場環境1-b-2-2】スマートワークの環境整備(クラウド環境)						
	1-b-3 印刷環境の見直し 【職場環境1-b-3-1】複合機・プリンタ配置見直し						
1-c-1 スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸・見直し							
【職場環境1-c-1-1】スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸調査							
1-c-2 スマートワークに適した働き方を見直し 【職場環境1-c-2-1】働き方見直し検討							
1-d-1 強靱で利便性の高いセキュリティ対策実施							
【職場環境1-d-1-1】強靱で利便性の高いセキュリティ対策の実施 <b>リーディング</b>							
自治体情報システムの標準化	2-2-1 基幹システム標準化対応 【職場環境2-2-1】基幹システムの標準化						<ul style="list-style-type: none"> <li>■国の指針に則り、自治体情報システムは標準化・共通化されている。</li> </ul>

R4年度の目標(総括)	R4年度の実績・評価(総括)
リモートワークへの対応やオンラインコミュニケーションの確立を行うことで、場所にとられない業務が可能な環境の整備を進める。また、基幹システムの標準化に向けた分析やBPRを行う。	部局長以上および一部部署に可搬性のあるモバイルパソコンを展開し、リモートワークへの対応やオンラインコミュニケーションの確立を進めた。また、次年度以降のスマートワーク環境構築にかかる検討を進めた。

R4年度の事業総括					
		目標	進捗状況	【実績】進捗状況・評価	未達理由・到達像への影響
1	時間・場所にとられないスマートワーク環境	「リモートワークに適したネットワーク・パソコン環境の検討と実証」として、リモートワーク環境の導入と実証を実施するとともに、既存システムを活用した会議・議会資料のペーパーレス化を推進する。また、「オンラインコミュニケーションの環境整備・実証」として、導入済みのオンライン会議環境についてより活用ができるよう設備や運用の見直し、全庁への展開を進める。また、スマートワークの実現に向けた職員の働き方に関する課題について棚卸を行う。	○: 予定どおり	部局長以上および一部部署に可搬性のあるモバイルパソコンを展開し、また同時に一部フロアにWifi環境を整備した。会議へのパソコンの持ち込みなど場所にとられない業務が可能な環境の整備を進めた。	
2	自治体情報システムの標準・共通化	「基幹システムの標準化」として、令和7年度の更新を目標とし、現行システムにおける標準化対象範囲の分析を行う。また、システムの標準化に向けた業務のBPRを進める。	○: 予定どおり	標準業務所管課において、業務標準仕様書と現行システムとの比較分析作業を実施。これによるBPR及び標準化外システム必要性の分析を行う。	

1	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンラインコミュニケーションの利用率	予定	50.0%	55.0%	60.0%	80.0%	90.0%	100.0%	100.0%		オンラインコミュニケーション利用職員数/利用可能職員数
	実績	60.3%	84.4%									
		ペーパーレス度(令和3年度印刷枚数との比較)	予定	100.0%	100.0%	85.0%	85.0%	70.0%	70.0%	70.0%	各年度のA4用紙購入枚数/令和3年度のA4用紙購入枚数	予定通り
			実績	100.0%	100.0%							
2	自治体情報システムの標準・共通化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		標準化対応基幹システム数	予定	/	/	/	0	20	20	20	国の自治体システム標準化に関する方針に基づき設定(標準化した業務数)	-
	実績	/	/	/								

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト		リーディング	活動指標														実施年度												
									項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9						
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-1-4	コンベンション協会業務デジタル化等事業	データ分析のためのタブレット端末やクラウド環境、モバイルルーターの整備を実施します。	○	業務観光整備件数				1	1	1		1		1		1		1		○	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-1-6	人流データを活用した行動分析	位置情報のビッグデータをもとに、観光客の行動を分析し、観光キャンペーンやルートの立案などを実施します。	○	データマイニング件数				1	2	3		5		5		5		5		○	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-1-7	SNSデータのAI分析による観光計画	SNS上の観光客のリアルな声を把握・分析し、観光コンテンツの評価や計画立案を実施します。	○	データマイニング件数						3		5		5		5		5		○	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	データに基づいた戦略の策定	観光1-2-1	データ共有プラットフォーム	観光に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		ダッシュボードの作成件数						6		12		18		24		30		○	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	データに基づいた戦略の策定	観光1-2-2	データ分析による需要予測	データ共有プラットフォーム上のデータを分析し、観光に関する需要予測を実現します。		データ活用による事業立案数						5		5		5		5		5		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	事業者と連携した地域の観光力強化	観光1-3-1	事業者等との情報共有(データ共有プラットフォームと同様)	データ共有プラットフォーム上にデータ連携機能を設けることで、事業者との情報共有を実現します。		民間事業者へのオープンデータ提示数						3		5		7		7		7		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-2	デジタルパンフレット	スマホやタブレットを活用した観光情報の収集ニーズに対応し、デジタルパンフレットの制作を実施します。		閲覧回数																					○	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-3	プロモーション動画を起点とした呼び込み	プロモーション動画を広告配信し、ホームページに誘導することで、観光地としての認知の向上を図ります。		ホームページへの遷移数(/年)	3,920	150	4,273	702	4,626			4,939		5,253		5,566		5,880		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-4	デジタルマップの活用	観光マップをデジタル化することで、観光客が現在地や観光スポットをスマホで確認しながら周遊することを実現します。		観光ルートのアクセス/利用者数	25,000	55,584	27,500	151,246	30,000			33,000		36,000		39,600		43,500		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-5	各種商品券の電子化	各種商品券を電子で発行することにより発行・管理業務の負荷やコストを軽減しながら、加盟店や利用者の拡大を実現します。		アプリダウンロード数					15,000			19,500		25,400		33,000		42,900		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	新たな技術を活用したプロモーションの推進	観光2-2-1	xRを活用した観光体験	九十九島周遊などxRを活用した観光体験を提供することで、観光資源の充実を図ります。		AR利用者数																…	…	○	⇒	⇒	⇒	⇒			









分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標													実施年度																		
						名称	名称	PID		名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9									
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサー)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-1	道路冠水状況モニタリングシステム	モニタリング(カメラ・センサー)により、市道等の冠水状況の把握を行います。また、冠水浸水予測システム構築に向けたデータ収集を実施します。	○	モニタリング箇所数					9		9			9			9			9		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒								
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサー)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-2	河川モニタリングシステム	ライブカメラやセンサー等により、リアルタイムな河川の状況把握を実施します。	○	モニタリング箇所数										4		4		8		8		8		8		8		○	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサー)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-3	ウェアラブルカメラの活用	ウェアラブルカメラを活用し、現場と本庁で画像、映像を共有し、本庁側での現場のリアルタイムな状況確認を実現します。		ウェアラブルカメラ利用時間(h)										200		50		100		150		200		250		300		○	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサー)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-4	(道路パトロールの動画活用システム及びAI分析システム)道路パトロールの動画活用システム	道路パトロールのICT化データ(路面評価)と、動画データとのダブルチェックによる損傷確認や、路面以外の道路周辺の映像確認等を実施します。	○	道路パトロール利用率											75.0%		75.0%		77.5%		80.0%		82.5%		85.0%		90.0%		○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析	土木2-1-1	冠水・浸水予測システム	道路・河川モニタリングシステムによって集積されたデータをAI技術等により分析し、水位予測モデルの作成を実施します。	○	冠水・浸水箇所の分析箇所数																0		1		1		…	…	…	○	⇒	⇒				
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析	土木2-1-2	(道路パトロールの動画活用システム及びAI分析システム)道路パトロールデータのAI分析	道路パトロールの動画活用システムなどで蓄積された画像データをAIにより分析し、舗装損傷箇所の自動検出を実現します。		道路パトロールデータ分析率											75.0%		36.5%		50.0%		55.0%		60.0%		65.0%		70.0%		○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析	土木2-1-3	WEBアプリケーション等を活用した市民による道路損傷通報	スマホの写真撮影機能と位置情報計測システム(GPS)機能を活用し、市民が道路損傷等をWEBアプリケーション等で市へ通報することを実現します。		WEBアプリケーション等による通報件数																90		100		110		120		130		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	情報分析に基づくインフラ管理の高度化	土木1-b-3/2-3-1	データ共有プラットフォームによるデータ管理	土木に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		データ種別数																									○	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	インフラ情報のリアルタイム発信	市民へのインフラ情報のリアルタイム発信	土木3-1/2-1	ホームページ等による情報のリアルタイム発信	ライブカメラの映像等をホームページ等でのリアルタイム発信を実現します。		リアルタイム発信のチャンネル数					0											2		4		6		8		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒		

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト		リーディング	活動指標														実施年度									
									項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9			
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	気軽に相談できる窓口の構築	福祉関係の手続き・相談等のオンライン化による市民サービスの向上	保福1-a-1-3	オンライン相談	介護・医療などの相談をスマホやパソコンからオンラインで実施可能な環境を実現します。	オンライン相談窓口数					15		15			15			15			15		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	気軽に相談できる窓口の構築	福祉に関する情報発信の強化	保福1-a-2-2	ナッジ理論を活用した健診の推奨	長崎県が実施する「ICTを活用した特定健診受診率向上対策事業」に参加し、受診勧奨を行う。	通知勧奨実施回数					1													…	○	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	保福2-b-1-1	訪問調査におけるタブレット活用	生活保護業務の訪問調査において、タブレットを活用して資料説明や情報入力を実施します。	タブレット置き換え数							1			1			1			1		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	保福2-b-1-2	電子審査会の推進	介護認定審査会をオンライン開催し、場所にとらわれない会議を実現します。	予定しているWEB会議の開催率					100%	100%	100%			100%			100%			100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	保福2-b-2-2	AIによる聞き取り	電話による問い合わせ対応をAIが聞き取りを行い、ヒアリングなど一部で自動対応を実施します。	○ 活用数																		…	…	○	⇒	⇒	⇒
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	災害対応に必要なデータの取得・分析	防災1-1-1	災害情報共有システム導入	災害時の各部局の被害情報を、災害対策本部でリアルタイムに集約し、一元管理できる環境を実現します。	○ 情報集約対象のシステム化率					0%	0%	100%			100%			100%			100%		○	○	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	災害対応に必要なデータの取得・分析	防災1-1-2	対災害SNS情報の取得・分析	SNSの投稿内容を分析し、指定エリアの被災状況やリスク情報のリアルタイムな可視化を実現します。	分析結果活用率					100%	100%	100%			100%			100%			100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	データ分析に基づく防災計画などの策定	防災1-2-1	3Dデータを活用した防災の周知	防災に対する意識向上を図るため、3Dデータを活用したシミュレーション動画の配信を実施します。	活用率(利用者数)					100%					100%			100%			100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	市民一人一人に合わせたタイムリーな情報発信	旅行者、外国人向けの防災情報の発信	防災2-2-1	旅行者向けの災害情報アプリケーションによる発信	自然災害時において、旅行者がより正確な情報収集を可能にできる環境を実現します。	防災アプリによる情報発信率					100%					100%			100%			100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	市民一人一人に合わせたタイムリーな情報発信	旅行者、外国人向けの防災情報の発信	防災2-2-2	ポータルサイトでの外国人向け情報発信	市民ポータルサイトでの多言語配信により、外国人に合わせた情報発信を実施します。	多言語による情報発信率					100%					100%			100%			100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
行政経営	窓口	総務部	行かなくてもよい&待たない窓口	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	申請のオンライン化	窓口1-1-1	全庁的な手続きオンライン化の推進	汎用電子申請システムやびったりサービスを利用し、庁内の手続きをオンライン化します。	○ オンライン対応手続き数	134	134	510	521	1,020					R6～9はR5中に整理し改めて設定する					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	窓口	総務部	行かなくてもよい&待たない窓口	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	申請のオンライン化	窓口1-1-2	自治体オンライン化推進事業	国が提供するびったりサービスと自治体が管理する基幹システム(マイナンバー利用系)をオンライン接続できるようにします。	○ オンライン対応手続き数	134	134	510	521	1,020					R6～9はR5中に整理し改めて設定する					○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標													実施年度									
						名称	名称	PID		名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9
行政経営	窓口	港湾部	行かなくてもよい＆待たない窓口	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	申請のオンライン化	窓口1-1-3	クルーズ船入港予約システム構築	オンラインシステムによるリアルタイムでの予約状況の見える化により、クルーズ乗降体制を強化します。	クルーズ客船による乗降人員数			1,566,000	2,747	1,686,000	1,806,000								○	⇒	⇒	⇒	⇒					
行政経営	窓口	総務部	行かなくてもよい＆待たない窓口	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	電子申請における事務処理の効率化	窓口1-2-1	電子申請と庁内システムの連携	汎用電子申請やびったりサービスで受け付けた申請データを庁内システムに連携し、内部事務の効率を向上します。														…	…	○	⇒	⇒						
行政経営	窓口	市民生活部	行かなくてもよい＆待たない窓口	書かない／待たない窓口の実現	窓口での手続きに要する時間の削減	窓口2-1-1	申請書類作成支援システム導入	窓口の待合スペースにて申請書類を端末上で作成し、窓口での対応時間を削減します。	システム利用件数						5		5		5		5	…	…	○	⇒	⇒						
行政経営	窓口	総務部	行かなくてもよい＆待たない窓口	書かない／待たない窓口の実現	来庁者の分散化	窓口2-2-2	申請の事前入力や窓口予約の実現	窓口に来なければならぬ手続きについて、申請書を事前に入力し、予約をするシステムを導入することで窓口での待ち時間や対応時間を削減します。	窓口予約数															○	⇒	⇒						
行政経営	窓口	総務部	行かなくてもよい＆待たない窓口	書かない／待たない窓口の実現	プッシュ型手続きの実現	窓口2-3-1	プッシュ型の手続き案内の検討	市民にとって必要な手続きをプッシュ型で案内することで市民の利便性を向上します。	プッシュ型手続き対応数																…	…						
行政経営	窓口	総務部	行かなくてもよい＆待たない窓口	相談チャネルの拡充	オンライン相談の拡大	窓口3-a-1-1	オンライン相談の拡大	現在も取組を行っているオンライン相談について、活用方法を整理し対象業務の拡大を図ります。	対応業務数	2	-	3	3	19	20		20		20		20		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
行政経営	窓口	総務部	行かなくてもよい＆待たない窓口	相談チャネルの拡充	相談に係る待ち時間の削減	窓口3-b-1-1	相談窓口予約	相談窓口について事前予約を既存のシステム(Office365やローコードツール)を活用し実装することで、相談窓口の混雑や待ち時間を削減します。	窓口予約対応手続き数	0	-	1	3	2	4		4		4		4	…	○	⇒	⇒	⇒						
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	支払いのキャッシュレス対応	財務会計システム納付書のキャッシュレス化	多様化1-1-1	財務会計システムの納付書に対するキャッシュレス導入	財務会計システムで取り扱う納付書に関してキャッシュレス対応し、多様なニーズに対応します。	キャッシュレス利用率	0%	0%	5%	3.9%	6%	7%		8%		9%		10%	○	⇒	⇒	⇒	⇒						
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	支払いのキャッシュレス対応	窓口(レジ)のキャッシュレス化	多様化1-2-1	窓口(レジ)のキャッシュレス導入	窓口での支払いに関してキャッシュレス対応のレジを導入し、多様なニーズに対応します。	キャッシュレス決済利用率(窓口)	0%	0%	20%	10.2%	25%	30%		35%		40%		45%	○	⇒	⇒	⇒	⇒						
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	支払いのキャッシュレス対応	個別システム納付書のキャッシュレス化	多様化1-3-1	個別システムの納付書に対するキャッシュレス導入	個別システムで取り扱う納付書に関してキャッシュレス対応を拡大し、多様なニーズに対応します。	キャッシュレス決済利用率(個別)	R4実施する調査結果に基づき設定													○	○	○	○	○	⇒				
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	高齢者・障がい者等のデジタルデバイス対応	多様化2-a-1-1	高齢者・障がい者へのデジタル活用支援	高齢者や障がい者がオンライン申請等を活用できるよう、教育等の支援をします。	デジタル活用セミナー実施回数	21	30	27	48	27	27		27		27		27		⇒	⇒	⇒	⇒						
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	情報発信の多言語対応	多様化2-b-1-1	広報の多言語対応拡張	広報等について対応する言語を拡張し、より幅広い外国人への情報発信を図ります。	対応言語数	4	4	4	4	4	133		133		133		133		⇒	⇒	○	⇒	⇒					
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	情報発信の多言語対応	多様化2-b-1-2	AI翻訳ソフトの実証と導入	汎用的なAI翻訳ソフトを実証し、様々な業務に導入します。	翻訳機使用回数	20	38	20	47	20	20		20		20		20		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標														実施年度													
						名称	名称	PID		名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9					
行政経営	多様化	市民生活部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	ネットワーク利用可能施設の拡大	多様化2-c-1-1	市内公共施設へのWi-Fi環境導入	より幅広い公共施設で市民がインターネットを活用できるようWi-Fi環境を導入します。	導入施設数	0	0	29	29	29		29					29							○	⇒	⇒	⇒	⇒					
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	情報発信のデジタル化	多様化3-1-1	広報紙のデジタル化	現在紙が中心となっている広報紙をオンライン化することで幅広い要望に対応します。	アクセス数	3,920,000	3,944,938	4,272,800	4,077,432	4,625,600		4,939,200					5,252,800					5,566,400					5,880,000	○	⇒	⇒	⇒	⇒	
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	情報発信のデジタル化	多様化3-1-2	LINEサービスの拡張	現在も取組を行っているLINEによる情報発信について、対象サービスを拡張し、より幅広い情報発信を行います。	対応業務数	9	9	11	9	13		15					15					15					15	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	利用者のニーズに合わせた情報発信の最適化	多様化3-2-1	情報発信チャネルの最適化	Youtube、Twitter、Instagramといった各種情報発信チャネルについて、より市民が活用できるようアクセス数分析し、集約等の最適化を行います。	チャネルごとのアクセス数																							…	…	○	⇒	⇒	
行政経営	高質化	財務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	市民・事業者の意見の効果的な活用	電話対応の品質向上・職員負担軽減	業務効率化1-1-1	電話の自動応答、録音による問合せ業務の向上	電話の自動応答・録音により、電話問合せにおける職員の負担軽減を行うとともに、対応の均一化や改善検討といった品質向上を図ります。	電話の自動応答を利用した業務数																							…	…	○	⇒	⇒	
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	市民・事業者の意見の効果的な活用	市民の声収集・活用の活性化	業務効率化1-2-1	広聴制度の見直し	現状の広聴システムにおいてSNSのコメント収集や、より分析しやすくするためのデータ形式や入力方法といった見直しを行います。また、より活発に精度の高い市民の声を収集するためのアイデアボックスを新設を検討します。	広聴システム満足度	100%	80.2%	100%	83.6%	100%		100%					100%					100%					100%	…	…	○	○	⇒	⇒
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-1	(先進的ICT技術活用企画費)RPAの導入と活用	RPAを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。	○ 利用件数	25	26	32	46	35		38					41					44				47	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-2	(先進的ICT技術活用企画費)AI-OCRの導入と活用	AI-OCRを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。	○ 処理帳票種類	0	0	20	19	24		28					32					36				39	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-3	(先進的ICT技術活用企画費)ローコードツールの活用	ローコードツールを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。	アプリケーション開発件数	1	0	3	1	6		9					12					15				18	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-4	(先進的ICT技術活用企画費)文字起こしAIによる議事録の自動化	既に取組を行っている文字起こしAIによる議事録の自動化について活用を促進します。	○ 処理件数	800	925	1,700	1,852	2,600		3,500					4,400					5,300				6,200	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	内部事務のデジタル化	業務効率化2-a-1-4	電子決裁・文書管理システム	文書管理システムを導入し、庁内における決裁を電子化することで業務の高速化を図ります。	電子決裁率	0%	0%	100%	100%	100%		100%					100%					100%				100%	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	内部事務のデジタル化	業務効率化2-b-1-2	庶務事務システムの再構築	庶務事務システムの再構築により、勤怠入力や休暇申請といった業務をデジタル化します。	庶務業務のデジタル化件数	0	0	1,200	0	17,700		17,700					17,700					17,700				17,700	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標													実施年度									
						名称	名称	PID		名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ利活用環境の整備	業務効率化3-1-1	BIツール等を用いたデータの見える化	時間のかかるデータ分析について、BIツールを用いることによりデータ活用の効率化ができるか実証の上構築を行います。	対応業務数	0	0	0	0	3		6		9		12		15		○	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ利活用環境の整備	業務効率化3-1-2	地理情報システム管理事業(長崎県データ連携基盤)	行政・民間が保有する地域内外の様々な情報(主に統計情報等)を収集、分析、利活用を容易にする、データ連携基盤を利活用し、地域課題解決等の施策立案を効率化、高度化します。	本市データをシステム連携し利用した回数	0	0	1,000	1,595	1,200		1,400		1,600		1,800		2,000		○	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ利活用環境の整備	業務効率化3-1-3	データ共有プラットフォーム		ダッシュボードの作成件数					6		12		18		24		30		○	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	庁内情報管理の高度化	業務効率化3-2-1	庁内情報の整理と配置の見直し	FAQ、グループウェア、ファイルサーバ、例規システムに格納されているデータについて職員が検索しやすいようデータの整理を行います。	対応業務数※整理・移行を実施した業務(分類)数														…	…	○							
行政経営	高質化	行財政改革推進局	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-5	業務手順書作成によるBPRの推進	業務手順書作成システムを導入し、全庁的に業務手順書を作成することで、その分析結果からRPAを導入するなどのBPRを行います。	手順書作成数	0	0	0	0	25		1160		1160		1160		1160		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒			
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	リモートワークに適した環境リプレイス推進	職場環境1-a-2-1	PCの台数、スペック、運用の見直し	リモートワーク等の働き方に合わせて、次期調達のPCのスペックや台数を見直します。	PC配布数															…	○							
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	オンラインコミュニケーションの環境整備・実証	職場環境1-b-1-1	オンライン共有環境や運用の見直しと拡大(庁内外の連絡のオンライン化)	既に取組を行っているオンライン会議について、より活用を拡大するため、会議室等の設備の見直しや、運用の見直しを行います。	オンラインコミュニケーションの利用率	50%	60%	55%	84%	60%		80%		90%		100%		100%		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	オンラインコミュニケーションの環境整備・実証	職場環境1-b-1-2	研修・説明会・視察のオンライン化	既に取組を行っているオンライン会議について、研修・説明会・視察にも活用することでオンラインのコミュニケーションの幅を広げます。	研修等におけるオンライン出席率															⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	情報共有環境の見直し	職場環境1-b-2-1	情報共有環境の見直し	メール、掲示板、スケジュール管理等についてより活用しやすいようグループウェアの見直しを行います。	標準化業務数	0	0	0	0	0		1		17		17		17		…	○	⇒	⇒					
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	印刷環境の見直し検討	職場環境1-b-3-1	複合機・プリンタの配置見直し	ペーパーレス化と合わせて、プリンタの数を削減するとともにどこのフロアでも印刷ができるようオンデマンドプリントを導入します。	プリンタ設置数															○	○	⇒	⇒	⇒				
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸	職場環境1-c-1-1	スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸	リモートワーク用の端末・ネットワークを整備に合わせて、スマートワークの実現に向けた職員の働き方に関する課題(スマートワークが実現できない業務、職員の意識等)の棚卸を行います。	-															○								
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	スマートワークに適した働き方の見直し	職場環境1-c-2-1	スマートワークに適した働き方の見直し検討	棚卸した課題に対する対応方針を検討し、職員の意識改革や職務内容を見直し等を行います。	-															○								

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標														実施年度													
						PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9							
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	セキュリティの強化	職場環境1-d-1-1	(庁内情報化基盤管理事業)強靱で利便性の高いセキュリティ対策実施	国が示すセキュリティ対策に従い実施します。	○	-																…	…	…	…	…	…						
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	自治体情報システムの標準・共通化	基幹システムの標準化対応	職場環境2-2-1	基幹システムの標準化	国が示すシステム標準化の指針に従い、基幹システムの標準化対応を行います。	○	対応システム数	0	0	0	0	0		0		20		20		20			…	…	○	○	⇒	⇒						
行政経営	職場環境	総務部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	リモートワークに適したネットワーク・パソコン環境の検討と実証	職場環境1-a-1-1 職場環境1-b-2-2	(庁内情報化基盤管理事業)スマートワーク環境の整備	リモートワーク用の端末・ネットワークを整備し、自宅等の庁外で業務ができる環境を構築します。あわせて、本庁舎にあるサーバをクラウド環境に移行します。	○	リモートワーク利用人数	10	29	108	14	108		108		108		108		108			○	○	○	⇒	⇒	⇒						
行政経営	推進課題	総務部	推進課題				ドローンの活用推進			ドローンシェア利用回数	0	0	0	0	19		40		40		40		40				○	⇒	⇒	⇒	⇒						
行政経営	その他	総務部	3つのしかけ				CDO補佐官と連携したDX推進	CDOを補佐するCDO補佐官を任用することにより、市役所のDXを強力に推進します。		CDO補佐官との協議回数	0	0	10	10	20		20		20		20		20			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒						
						111	リーディングプロジェクト数	27																													